

## 第27回SEA教育ワークショップ2013

テーマ:改革を急げ! 21世紀型技術者を育成する創造的教育基盤を実現せよ!

主催:ソフトウェア技術者協会(SEA)

運営:教育分科会(SIGEDU)

### 実施報告書

#### 1. 開催概要

私たちソフトウェア技術者協会教育分科会では、わが国をはじめ、グローバルな情報通信社会におけるソフトウェア技術者、情報処理技術者をはじめ、広く一般の人材育成、教育について、官民、産学を問わず、各方面の方々と共に考察、検討を継続しております。

近年、携帯電話に代表されるハイテク機器業界が韓国をはじめ中国や台湾に遅れをとっている現状や、自然災害や人的災害による混乱の後始末もままならない我が国の現状をみると、その多くがヒューマンパフォーマンスに起因しているように見受けられます。人のパフォーマンスを向上するための教育方法や指導方法に関する研究も徐々に推進されているものの、まだまだ精神論中心の我が国固有の人材開発の根本的欠陥は未だにその解決の糸口を見出だせないで見えます。

こうした世相の中で、21世紀が求める新しいタイプの技術者や、さらには一歩ずつ着実に現状を改革しながら創造的な生産活動を推進して行ける人材を育成する教育基盤を定着させることは技術領域を問わず、私達教育担当者の急務であると言えないでしょうか。

運営は引き続き、実行委員長を牧野憲一(バルトソフトウェア)、プログラム委員長を米島博司(パフォーマンス・インプローブメント・アソシエイツ)が担当いたしました。会場は数年前から候補に上がっている瀬戸内に浮かぶ大久野島(広島県)で進めていましたが、諸般の事情により断念せざるを得なくなりました。方向転換を余儀なくされ新たな候補地探しですが、富士山が世界遺産に登録された記念の年でもあり、富士山が拝める地で開催したいとの実行委員長の強い思いがあり、伊豆長岡に決定しました。ローカルアレンジメントにおいては常連かつ地元の君島さんに大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

今回はサプライズの飛び入りがあり、総勢11名となりました。初日のスタートは7名だったので少し寂しいかと思いましたが、そこは教育分科会、人数に関係なく熱いスタートとなりました。夕食後のオフレコセッションだけでなく、部屋に移動して深夜までの激論となるのはいつものことです。(まきの)

#### 2. 日程

2013年11月14日(木)PM~11月16日(土)AM

#### 3. 会場

伊豆長岡温泉 えふでの宿小松家八の坊

静岡県伊豆の国市長岡1056-1 <http://hachinobo.com/>

#### 4. 参加者一覧

氏名	会社・大学	所属・役職
鈴木 克明	熊本大学	大学院教授システム学専攻
山崎 進	北九州市立大学	国際環境工学部
君島 浩	教育設計研究室	
中尾 善孝	クボタシステム開発(株)	人財開発部
若山 昇	帝京大学	法学部
森泉 清	リコーテクノシステムズ(株)	技術統括本部 技術教育センター
近藤 伸也	ひょうご震災記念21世紀研究機構	人と防災未来センター
古畑 慶次	デンソー技研センター	技術研修部
中山 照章	(株)SSL パワードサービス	

実行委員長	: 牧野 憲一	バルトソフトウェア(株)
プログラム委員長	: 米島 博司	パフォーマンス・インプルーブメント・アソシエイツ



”えふでの宿小松家八の坊“玄関にて記念撮影  
AKB48“恋するフォーチュンクッキー”を意識？じぇじぇ！

## 5. プログラム

月日	時刻	時間	セッション内容	発表者(担当者)
11月14日	13:00	0:30	<現地集合・受付> 伊豆長岡温泉 えふでの宿小松家八の坊	—
	13:30	0:45	オリエンテーション、自己紹介、Session調整	—
	14:15		<b>第1部</b>	
	14:15	1:00	「出版物ゼミ教材～電子書籍・TPPにからめて～」	君島 浩(教育設計研究室)
	15:15	0:05	休憩と準備	—
	15:20	1:00	「医療者向けISD教育の実践と改善」	米島 博司(パフォーマンス・インブルー プメント・アソシエイツ)
	16:20	0:05	休憩と準備	—
	16:25	1:00	「サービスマネジャーの育成事例紹介」	森泉 清(リコーテクノシステムズ)
	17:25	0:55	入浴・休憩	—
	18:20	2:00	夕食(懇親会)	—
20:20	1:40	オフレコセッション(1)	当日決定	
月日	時刻	時間	セッション内容	発表者(担当者)
11月15日	8:00	1:00	朝食	—
	9:00		<b>第2部</b>	
	9:00	1:00	「研修設計チェックシート案のリアリティチェック」	鈴木 克明(熊本大学)
	10:00	0:05	休憩と準備	—
	10:05	1:00	「トップガン研修構築の考え方と実践」	古畑 慶次(デンソー技研センター)
	11:05	1:55	(昼食とリクリエーション) 源氏山公園散策: ホテルから300m程度に位置する小高い丘です。食後の腹ごなし程度とお考えください	
	13:00		<b>第3部</b>	
	13:00	1:00	「人材育成の取り組み」	中尾 善孝(クボタシステム開発)
	14:00	0:05	休憩と準備	—
	14:05	1:00	「質の高い理系人材を求めて」	牧野 憲一(バルトソフトウェア)
	15:05	0:05	休憩と準備	—
	15:10	1:00	「クリティカルシンキング教材のeラーニング化」	若山 昇(帝京大学)
	16:10	0:05	休憩と準備	—
	16:15	1:00	「イノベーション教育」	中山 照章
17:15	0:55	入浴・休憩	—	
18:10	2:00	夕食(懇親会)	—	
20:10	1:50	オフレコセッション(2)	当日決定	
月日	時刻	時間	セッション内容	発表者(担当者)
11月16日	8:00	1:00	朝食	—
	9:00		<b>第4部</b>	
	9:00	1:00	「災害対応演習の普及に向けた研修の設計」	近藤 伸也(人と防災未来センター)
	10:00	0:05	休憩と準備	—
	10:05	1:00	「教育ビジネス起業に向けた準備」	山崎 進(北九州市立大学)
	11:05	0:45	予備枠(2) or 再発表希望者用枠	当日決定
	11:50	0:10	総括、SIGEDU活動紹介	—
	12:00		解散	—
	Option		(オプションツアー) 伊豆の国パノラマパークロープウェイ 富士山と駿河湾を一望できる絶景です。標高452mの葛城山の山頂まで全長1,800mをロープウェイで登ります。 ※ 天候次第で、11/16PMIに組み入れるかもしれません。ご了承ください。	

## 6. 参加者感想(敬称省略、発表順)

### ■君島 浩(教育設計研究室)



宿泊したホテルへの私の評価は、温泉浴場△、食事△、従業員△、会議室△でした。松・竹・梅の竹ランクでした。隣の市に住んでいる私が、ホテル選定をお手伝いしましたが、伊豆は東京から近くて料金が高いので、松ランクを見つけるのは難しかったです。

私はトップバッターとして「出版物ゼミ教材～電子書籍・TPP にからめて～」を発表しました。経営教育の研究会で使用した教材の事例です。よく知られたテーマですが、新発見もあります。

- 日本の作家たちが著作権法の改正に反対するのは、思想のせいのように考えがちだが、世界各国の著者死後の保護年数を地図で表現したら、地域差に過ぎなかった。
- 出版不況だと言われているが、出版物の売上高をグラフにしたら、ほかの産業と同様に「空白の 20 年間」が不況になっているだけであった。
- テレビの出現が映画を斜陽産業にしたと言われがちだが、映画の売上高をグラフにしたら、テレビが出現した後に順調に伸びていることが分かった。

鈴木先生が指摘したように、例年のように私の発表には質問が少なかったです。内容が濃すぎるのか、ゼミ授業としての意見と教材改善の意見とどちらを発言するか迷うのか。経営教育の研究会には、必ず意見を言ってくれる人が二人ほどいます。

鈴木克明先生の発表の参考資料の一つ(だったか?)「出典:楠田祐・大島由紀子(2011)破壊と創造の人事 ディスカヴァー・トゥエンティワン」「太田肇(2013)組織を強化する人材活用戦略 日経文庫 1283B113 日本経済新聞出版社」について後で調べてみました。楠田祐は人事理論の楠田丘の甥だそうです。どちらの本も最近の動向の部分だけを述べているので、過去の人事理論と合せて読まないといけないと思いました。例えば、過去の人事理論でも工夫次第でさまざまな実践が可能ですが、最新の人事理論書が欲しいですが、なかなか見つかりません。

牧野さんの「質の高い理系(情報系)人材を求めて」の感想は、教育試験の品質用語を流用すれば、妥当性(カバー範囲が適切な性質)が高く、信頼性(だれがやっても、何回やってもこうなるという性質)が高いことです。作業場所のビデオを見せるのは、子供だましの採用宣伝テクニクではなくて、就職活動をする学生の知りたいことに、適切に対応していると感じました。2016 年卒からの就職協定改定で採用が難しくなることを心配していましたが、妥当性や信頼性のある対策を選ばない企業よりは有利さを保てることでしょう。

若山先生の「クリティカルシンキング教材のeラーニング化」は、楽しく議論したはずですが、なぜか発言したことのメモが残っていません。話しをeラーニングから変えてしまうならば、例え対面授業であってもスライドの視覚性を工夫するとクリティカルシンキングに役立ちそうに思います。私の発表したスライドがそれに近い例があります。

古畑さんと中尾さんは初めての参加だったので、事後に次のようなメールで資料送付をしました。

---

古畑さん、中尾さん お二人の発表に関係しそうな、私が作った資料をいくつかお送りします。

「科目記述の作成手引書」は、筑波大学の教員用に作ったマニュアルです。

「教育関連法規」は、人材開発制度の堅苦しい参考資料です。

「言語屋の産官学渡り歩き」は、富士通時代のソフト開発の思い出話しが載っています。

---

近藤さんの「災害対応演習の普及に向けた研修の設計」について、毎度のことながら「災害対策本部の演習を図上演習と呼ぶ間違いが全国に普及している。『本部演習』に直して欲しい。本部は演習の時も本番

の時も図で作業するのだから。また、本部室は普通の会議にも利用して、使い慣れさせることが大切だ」と指摘しました。自衛隊では指揮所演習と呼んで図上演習とは区別します。指揮所は普通の会議にも利用して、電子通信指揮システムなどを使い慣れさせます。

山崎先生の二つのテーマの発表については、「実務経験のない学生のためには、過去の作品を教室の壁に貼ることが役に立つ。米国の高校のPC演習室を見学したら、そうだった。教室を占有できない場合には、山崎先生のウェブページに作品やレビューコメント入りのソースコードなどを載せたらどうか」と提案しました。

#### ■米島 博司(パフォーマンス・インクルーブメント・アソシエイツ)



SEA 教育ワークショップも27回目を数え、私自身が初めて参加した第12回(南紀白浜)からかぞえても16年が経ちました。昨年9月末に退職してからはフリーランスとして2回目の参加ですが毎回新鮮な発見や感動があり、今回も有意義なものとなりました。

初日開始前のオプションツアーで見た三島の柿田川公園の富士の湧水池も見事でした。修了後のかつらぎ山からの富士の絶景はお天気にも恵まれ富士の頭こそみられませんでした。天城山や

駿河湾の絶景は素晴らしかったです。

今回は自分自身の教育実践の報告を若干の宣伝も含めて発表させていただきましたが、さらに改善して行こうと決意を新たにしました。

参加者の皆様を始め見事な運営をされた実行委員長の牧野さんにあらためて感謝します。有り難うございました。また来年も集いましょう！

#### ■森泉 清(リコーテクノシステムズ(株))



今年9月に定年になりアクティブパートナーとして契約社員として再スタートとなりました。弊社の教育部門も今年全国組織として再スタートさせており教育部門の一員として活動しております。また、最近では定年前までのキャリアを活かした戦略立案のワークショップも手がけており、今回その事例を紹介させて頂きました。

資料は公開できませんが今回技系ミドルマネジャーが顧客満足経営を実現するためのワークショップ事例を紹介させて頂きました。

事例紹介の概要としてはミドルマネジャーが自組織の戦略を立案する支援をするワークショップになります。

1. 自組織の強み・弱みを棚卸し
2. SWOT分析で施策案の決定
3. バランス・スコアカードの戦略マップ手法を活用した成功シナリオの作成
4. 成功シナリオを実現するために管理指標の決定
5. TOPLレビュー

ワークショップ形式で展開する事例を紹介いたしました。

今回の事例研修会でみなさんの事例を聞かせていただき、自分が企画したワークショップのリフレクシ

ンをする時間が持つことができました。そしてバランス・スコアカードによる成功シナリオ構築がIDを実務的活用する近道であることを再確認することができました。

鈴木先生のチェックシート項目をプロセスから学習と成長のブレクダウンさせるときのチェックシートして全項目が網羅できており今回企画したワークショップで活用させていただきたいと思います。

1. 学習が必要なことは
2. 情報提供システムを強化することは
3. 経験積んで強化することは
4. コミュニケーションを強化して行くことは
5. 風土の改善することは

戦略マップでは「学習と成長」は学習(研修)のみではなく風土・経験・システムの成長とどのようにバランスをとって適正な方法で社内プロセスを実現するかを考える手法になります。一方IDで研修は最後の手段として考えるとこは戦略マップの学習と成長を考える上で一致していることが再認識することができました。

#### ■鈴木 克明(熊本大学大学院)



毎年のことながら、「濃い」3日間を過ごさせていただき感謝します。特に実行委員長の牧野さんには特にお世話になりました(来年もよろしくお願いします！)。

熊本に移ってからはや8年目になり、岩手時代はまだ近く感じていたソフトウェア技術者養成からも遠ざかり「アウェイ感」が年々高まっていますが、一方で、年に1度の貴重な学びの場になっております。今回も、ハッカソンやサービス品質 ITIL など新しく知った言葉もあり、勉強になりました。

当方の発表は、遅々として進まない「研修設計マニュアル」執筆へのステップの一つとして試作した「ISDギャップ分析シート」(1)+(2)+(3)ならびに「ISD 視点で研修を見直すためのチェックリスト」+「ISD からID への Feedback シート」を見ていただき、研修現場の視点で「こんなんつかえまへんで」とか「書きにくいですわ」といったリアリティチェックをしてもらおうという魂胆でしたが、前段の説明(どこでどんな目的で使ったのかなど)に時間がかかり、もろんだ成果はあまり得られませんでした。その一方で(オフレコセッションも含み)様々なアドバイスや裏情報をいただくことができて満足でした。

大学での教育も根本から見直す時期が到来していますが、企業での研修もソフトウェア技術者に限らず様々な分野で棚卸が必要な状況です(もうずいぶんそういう時間がたっていると思うのですが...)。研修のための研修を脱皮して、研修以外の方法を視野に入れた全体設計ができるように(当然、何のためにやるのか+ギャップ分析に基づいて)、実効性のある研修を設計するための手引きを早く完成させたいと思う今日この頃。「早く書いてください」という参加者からの励ましを胸に帰路についたのであります。

#### ■発表資料の公開

そんなわけで、発表資料として公開できるものはありません。以下に、「研修設計マニュアル」関連の情報の所在と、オフレコセッションも含めて議論したネタのリストをお届けします。これでご容赦くださいませ。

【連載】ヒゲ講師の ID 活動日誌(45) ～訳本も良いけど書下ろしはどうしたの? : 典型的なパフォーマンス分析の質問～ ([http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/?page\\_id=55&cat=36&n=4795](http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/?page_id=55&cat=36&n=4795))

執筆企画の公表証拠@第 20 回 SEA 新春フォーラム 2012 (<http://www.ustream.tv/recorded/19878708> )

<議論したネタ本>

楠田祐・大島由紀子(2011)破壊と創造の人事 ディスカヴァー・トゥエンティワン

森和夫(2008)人材育成の「見える化」上巻: 企画・運営編 JIPM ソリューション

太田肇(2013)組織を強くする人材活用戦略 日経文庫 1293B113 日本経済新聞出版社

#### ■古畑 慶次((株)デンソー技研センター)



このワークショップには初めての参加で、皆様、大変お世話になりました。非常に勉強になったというのが実感です。また、ワークショップ全体もよく企画されており、3日間楽しませて頂きました。ありがとうございました。

私は、会社の研修所に所属していますが、日頃、人材育成や研修について実のある議論は決してできていたとは言えません。自分の担当するコース(トップガン)では、その問題意識から担当者と社内講師で現場に役立つ研修に向けてカリキュラムの改善を始めましたが、まだまだ道半ばです。今回のワークショップでの皆様からのご指摘は大変参考になりました。研修としての課題が明確になり、今後の取り組みのイメージできたのが最大の成果です。次回は、さらに進化させたトップガンについて報告できたらと思っています。

また、こうしたワークショップは、企業の研修担当者にとって非常に重要だと感じました。トップガン関係者だけでなく、職場にも展開し、若手にも是非、興味を持ってもらいたいと思っています。引き続きよろしくご願ひ致します。

#### ■中尾 善孝(クボタシステム開発(株))



はじめて教育ワークショップに参加させていただいたクボタシステム開発の中尾です。きっかけは、SEA 会員の同僚から案内があり、「テーマがいいね」という上司の勧めもあってフルセッションを申し込みました。よく知らないまま参加したので、なにかとご迷惑をかけたと思いますが、牧野実行委員長をはじめ皆様が大変親切なので快適な合宿でした。ありがとうございました。

今回、私は「人材育成の取組み」をテーマに、社内で企画中の人材開発システムについて発表しました。システムを作った後の運用が難しいなど、率直なご意見をいただき感謝しています。

全般を通して、このワークショップで感じたことが2つあります。一つは議論が情熱的で前向きなことです。熱が入った議論をしていても、ちゃんと収まるところはすごいと思いました。もう一つは個性が強く独創的な方が多いので、話があちこちに飛ぶキャッチボールが楽しかったです。先生方の深い知識は流石だと感心するとともに、先輩方の経験談には頷くことが多く、本音で語れる有意義な機会を与えていただいたことに感謝いたします。

■牧野 憲一(バルトソフトウェア(株))



25回WSは“訓練重視の新入社員教育へ”、26回WSは“若手エンジニアの自主性創出”と、若年層中心の発表をしてきましたが、今年は企業人への入口である採用を取り上げ、“質の高い理系人材を求めて”というテーマで発表しました。大学関係者を中心にアドバイスを求めるものです。参加者には一部生々しいデータを見ていただきましたが、報告書による公開は差し控えていただきます、ご了承ください。

何とか優秀な理系人材を採用したいとの思いがあり、幾つかの細かい取組み事例を紹介しました。しかし、私の懸念は新しい就職協定です。研究に没頭したい理系学生にとって、研究が軌道に乗った頃に採用活動を迎えることになり、研究に大きな支障がでるのではないかと懸念します。しかも短期集中となると大手指向の傾向が今以上強くなると予想でき、個性を重視した企業選びがしにくくなるのではないかと危惧します。参加者の皆さんには引続き、上記課題意識の中、採用に対する良きアイデアやヒントをお持ちならアドバイスをお願いします。引き続きお待ちしております。

さて、今回、企業の事例としてリコー、デンソー、クボタと3社の発表を聞かせていただきました。各々の企業が抱えている課題に対して的確に打ち手を実施しておられる様子を伺って、さすがだなと感じました。経営トップの認識を確実にブレークダウンし、リソースを配置の上、課題対応されている様子が良くわかりました。WSというクローズな場とは言え、貴重なスライドを見せていただいたことに感謝いたします。

山崎先生の学生を“起業家”にさせるとの発表はとても興味のあるものでした。インターンシップをはじめ企業との接点をもっと有効に活用したいとの思いは、温泉に浸かりつつしっかりと伝わってきました。インターンシップを通じての大学との接点は私も持っており、距離と時間が詰められるならばもっと議論したいと思いました。是非よろしくお願いします。おりしも、大学コンソーシアム京都からの依頼により、インターンシップの報告(発表)をすることになりました。発表が済めば資料を共有しましょう。

■若山 昇(帝京大学)



都合により1泊2日で参加いたしました。私以外の参加者も、皆それぞれ課題、悩み、解決すべき教育上の問題があり、悩んでいらっやいます。それを、皆で議論して、ヒントを得るべく問題解決策を見出す活動は、誠に素晴らしいです。この機会は何ものにも代えがたいと思います。

今回初めて遠隔地のワークショップに参加いたしました。1時間もの時間をいただき有りがたく存じます。もうちょっとで、あやうくS先生から卓袱台をひっくり返される所でした。しかし、収穫は大きかったです。これで、暗礁に乗り上げて、進展が止まっていたクリティカルシンキングのeラーニング化を、先に進めることができそうです。皆様に鋭いご指摘をいただきました。ありがとうございました。来年にはもっと進歩した報告をしたいと思います。

#### ■中山 照章((株)SSL パワードサービス)



まず初めに、牧野実行委員長と皆様にお詫びします。この実施報告書が遅れたのは、すべて私の責任です。私の感想文が遅れたために、実行委員長の実施報告書の完成が遅れました。昨年もWSの感想文が遅れたために、WSの最後に実行委員長から必ず期限内に提出するようにと釘を刺されて、「はい」と約束していたにも関わらず、期限を守れず、こうして今書いている次第です。申し訳ないので言い訳は書きません。もし、次回参加することがあれば、感想文はWSの最中に書いてしまうか、終わった日に取り掛かることにします。

さて、今回は最初から予定が怪しかったのですが、やはり、仕事とスケジュールがかぶってしまい、途中からの参加になりました。それで、1日だけの飛び入りにしようかと考えて行きましたが、やはり参加してしまうと次の日も出たくなり、結局、2日間の参加になりました。ちょっとだけの飛び入りのため発表はしないつもりで行ったので、発表の用意はしていませんでした。しかし、sigeduでは許される訳もなく、予備として空けていたプログラムの罫にみごとハマってしまいました。それで、急遽、発表の用意をしましたが、他の方の発表を聞きながらだったので、よく聞いていなかったりして、発表者の方には大変失礼しました。

ともあれ、行きの電車で読んでいたICJというインキュベーションコンサルティング会社の「大企業でのイノベーションプロジェクトが失敗する3つの理由」というページをネタにして、企業の中のイノベーション教育について発表しました。各社のイノベーション教育について聞くつもりが、こちらの情報提供だけになってしまいました。それでも、日ごろモヤモヤと考えていたことの整理が出来たような気がします。情報提供で、皆様に反面教師としてでも役立てれば幸いです。

#### ■近藤 伸也(ひょうご震災記念21世紀研究機構)



SEA 教育ワークショップには初参加となりました。2日目の夕食からの参加となりましたが、夕食後にも関わらず会議室でナイトセッションがあり、その後も議論が続くなど、翌日の朝イチの発表で失礼してしまいましたが、濃密な時間を過ごすことができました。噂には聞いておりましたが、本当に濃かったです。

4月から現職に戻る形になりましたが、3年前と比較すると防災や災害対応に関する研修や演習訓練に関する需要が高まっているように感じます。一方で旧態依然の講義形式の研修が賞賛されたり、演習や訓練も担当者だけに責任を押しつけた結果、企画運営だけで力尽きる事例があるなど、全体的に軽んじられているように感じます。目的志向の設計と評価をしっかりとできるようにしなければなりません。

学生時代から10年近くsigeduでお世話になっておりますが、ようやく議論されてきた内容を適用できるような気がします。そういう意味で今回のワークショップはとても勇気づけられました。ありがとうございました。

最後に今回のワークショップで得た内容について振り返ります。

- ・カリキュラムが固まらなければスタイル(講義、質疑応答、テストにかかる時間)を先に確立して、内容を更新するやり方もある。
- ・講義形式でも内容を振り返る時間をとる。例えばアンケートに理解した内容を書かせることや質問を議論して出させるやりかたもある。
- ・受講生に満足度を書かせると彼らがお客様になる。何を理解したかを書かせるべき。

- ・アンケートが多すぎなのではないか。
- ・演習や訓練のアクションプラン(実施計画)も書かせると良い。

#### ■ 山崎 進(北九州市立大学)



今年で3回目の参加になります。授業スケジュールの関係で2日目夕方からの参加になってしまったので、他の人の発表をほとんど見られなかったのがとても残念です。

ナイトセッションでは、熊本大学ランチョンセミナーで発表したMSQRPアプローチについて sigedu メンバーに披露しました(MSQGP から改名しました)。大学院でソフトウェア工学概論という授業を受け持っているのですが、はやりの反転授業のスタイルを取り入れて、独自の自立型学習のスタイルを考案・実施してみました、というお話です。今年新規導入した自信作です。期待した通り反響は上々で、鈴木先生の「いいじゃな〜い！」というお褒めの言葉をいただけたのが感激の極みです。さらなる改良点も見えてきたので、来年また頑張ります！あ、その前に論文書きます...!!

翌日の表セッションでは、今、私が関わっている教育活動の全体像を整理して、より良くするためにはどうしたらいいか、事業化に結びつけるにはどうしたらいいかについて、みなさまにご相談しました。数々の貴重なアドバイスとともに、少なくとも方向性は間違っていないという自信を得られました。今後も熟考して、事業を立ち上げたいと思います。

#### 7. WSを終えて

“えふでの宿小松家八の坊“には君島さんに何度か訪問していただき、事前交渉をお願いしていました。そのお陰で、会議室、部屋、食事等々快適に過ごすことができました。会議室は和室に机と椅子という組み合わせでしたが、予想以上に使いやすく、ゆったりしており討議に集中することが出来ました。

通常のセッションに加え、夕食後のナイトセッション、恒例の部屋での深夜バトル...相変わらず元気なおじさん達です。初心者にはちょっときつかったかも知れませんが、参加者は自分の肩書き(企業名、大学名)を忘れて忌憚のない発言が出来るのがWSの良いところです。そのために温泉地を選んでいるのですから。今回もそういう意味では十分な環境だったかと思います。

更に、ここ数年、開催地を知るという意味合いで、二日目の午後の一部を利用して周辺の散策をしておりましたが、今年は途中から参加される方が多いので、WS終了後の午後にオプションとして設定しました。その代わり、ランチ後に目の前の源氏山公園をミニ散歩する計画を立てましたが、雨のため断念することになりました。フルメンバが揃ったのは三日目の朝のセッションだけです。ということでセッション開始前にホテルの前で記念写真を撮影したのです。

WS終了後のオプションツアーは“かつらぎ山登頂”です。といっても徒歩で登るわけではなく、ロープウェイ7分間の旅ですが、富士山こそ雲に隠れて山頂が見えませんでした。駿河湾の全景をしっかりと見ることが出来ました。気温も暑いくらいです。

参加者の皆さん、本当にお疲れ様でした。お忙しい中、時間を捻出してくださった努力にあらためてお礼申し上げます。次年度も新しい風を吹き込みながら、ワークショップの運営も更なる変革を図り、教育分科会の活動が益々盛り上がることを願って結びとさせていただきます。一年後にお会いしましょう。早速発表のネタ探します。

実行委員長 牧野 憲一

8. ワークショップ関連の写真



伊豆箱根鉄道(三島-修善寺)



源氏山公園(千と千尋みたいな)



ゆったりとした畳の会議室



恒例の腹ごなし? ナイトセッション



初日の夕食、確実に食べ過ぎ!



ホテル八の坊の全景

## 9. オプションツアー

山頂と山麓全長 1,800m のロープウェイ(約 7 分)で標高 452m のかつらぎ山に登ってきました。山頂公園から富士山、駿河湾など 360 度の大パノラマ！見事な景色でしたが、富士山は残念ながら恥ずかしかったです。



伊豆の国パノラマパーク



4人乗りのゴンドラです



駿河湾全景です



裾野はくつくりの富士山です

10. 発表資料リンク(URL をクリックしてご覧ください) ※発表順

■君島 浩(教育設計研究所)

「出版物ゼミ教材～電子書籍・TPPにからめて～」 [http://sea.jp/SIGEDU/27th\\_kimijima.pdf](http://sea.jp/SIGEDU/27th_kimijima.pdf)

■米島 博司(パフォーマンス・インプルーブメント・アソシエイツ)

「医療者向けISD教育の実践と改善」 [http://sea.jp/SIGEDU/27th\\_yonesima.pdf](http://sea.jp/SIGEDU/27th_yonesima.pdf)

■森泉 清(リコーテクノシステムズ株式会社)

「サービスマネジャーの育成事例紹介」【非公開】

■鈴木 克明(熊本大学)

【連載】ヒゲ講師の ID 活動日誌(45) ～訳本も良いけど書下ろしはどうしたの? :典型的なパフォーマンス分析の質問～ ([http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/?page\\_id=55&cat=36&n=4795](http://www2.gsis.kumamoto-u.ac.jp/~idportal/?page_id=55&cat=36&n=4795))

■古畑 慶次(デンソー技研センター)

「トップガン研修構築の考え方と実践」 [http://sea.jp/SIGEDU/27th\\_kobata.pdf](http://sea.jp/SIGEDU/27th_kobata.pdf)

■中尾 善孝(クボタシステム開発)

「人材育成の取り組み」 [http://sea.jp/SIGEDU/27th\\_nakao.pdf](http://sea.jp/SIGEDU/27th_nakao.pdf)

■牧野 憲一(バルトソフトウェア株式会社)

「質の高い理系人材を求めて」 [http://sea.jp/SIGEDU/27th\\_makino.pdf](http://sea.jp/SIGEDU/27th_makino.pdf)

■若山 昇(帝京大学)

「クリティカルシンキング教材の e ラーニング化」 [http://sea.jp/SIGEDU/27th\\_wakayama.pdf](http://sea.jp/SIGEDU/27th_wakayama.pdf)

■中山 照章(株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ)

「イノベーション教育？」 [http://sea.jp/SIGEDU/27th\\_nakayama.pdf](http://sea.jp/SIGEDU/27th_nakayama.pdf)

■近藤 伸也(人と防災未来センター)

「災害対応演習の普及に向けた研修の設計」【資料なし】

■山崎 進(北九州市立大学)

「教育ビジネス起業に向けた準備」 [http://sea.jp/SIGEDU/27th\\_yamazaki.pdf](http://sea.jp/SIGEDU/27th_yamazaki.pdf)

ランチョンセミナー資料: <http://cvs.ield.kumamoto-u.ac.jp/wpk/?p=2091>

以上